

四日市市磯津の生物等の地域言葉(伝承・諺)

磯津ことばを記録する会

1 気象に関するもの

① 動物に関するもの

区分	種別	伝承・諺(磯津ことば)
哺乳類	猫	・ネコが顔を搔くと雨
		・ネコの鼻が乾くと雨
		・三毛猫の雄は天気を知る
鳥類	一般	・鳥が低い所に巣を作ると嵐が来る(又は多い)、高い所に作ると嵐が来ない(又は少ない)
	トビ	・トンビが日和を上げると晴れ ・トンビの高鳴きは日和が良い
	ヒバリ	・ヒバリが高い所を飛ぶと晴れ
	ツバメ	・トバが低い所を飛ぶと日和が悪い ・ツバメが下を飛ぶと雨
	スズメ	・スズメが朝にチュンチュン鳴くと晴れ ・スズメが水浴びすると雨(が近い)
	爬虫類	—
	両生類	アマガエル
昆虫		
	セミ一般	・セミが鳴き始めると照ってくる
	ツクツクボウシ	・ツクツクボウシがよく鳴くと暑くなる
	メマトイ	・カンボ多いと日和が悪くなる
	ムカゼ	・ムカデが出てくると雨(が近い)
	ミミズ	・ミミズが(たくさん)出てくると天気が悪くなる
	カタツムリ	・デンドンムシが出てくると雨(が近い)
	ナメクジ	・ナメクジ(ラ)が出てくると雨(が近い)

② 植物に関するもの

区分	種別	伝承・諺(磯津ことば)
—	—	—

③ 風に関するもの

区分	種別	伝承・諺(磯津ことば)

東風	一般	<ul style="list-style-type: none"> ・マゼが吹くと雨 ・沖風が吹くと雨 ・冬が寒いとマニシが吹く ・マゼ食った西か、獅子食った報いか（寒い時期にマゼが吹くと、強い西風が吹く） ・マゼは波が高いが、タカイマゼは波が低い
西風	一般	・西風が吹くと天気。
	梅雨時期	<ul style="list-style-type: none"> ・せつの西風、雨のおぼ（さん）（＝梅雨に西風が吹くと雨が近い） ・せつの西風、おぼさんの餅よかまたい
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コウショノマゼは昼はござらん、夜ござる ・いっぺん風が三日続く ・ヤマゼバヤテは 13 年（西からハヤテはしばらく続く）

④ 雲に関するもの

区分	種別	伝承・諺（磯津ことば）
東への移動		<ul style="list-style-type: none"> ・雲が東に下がると晴れ ・西から東に流れる雲が途切れ、山にへばりつくと、明けに風が吹く
西への移動		・雲が（西に）のぼると雨（が近い）
東（＝沖）の空（の雲）		・沖が暗いと雨
西の空（＝山にかかると）（の雲）		<ul style="list-style-type: none"> ・西が暗くなるとハヤテ（又はひとさめ）が来る ・西の山に（白い）雲がかかると風が吹く ・西の山に白い雲がかかると（西）風が強い
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・どうあいに雲が上がると日和が悪くなる（どうあい＝伊勢湾口：神島方面） ・春霞、ちょうちょう雲、馬の尻吹き破る ・雪は山を回っていく（伊吹→御在所→野登→朝熊山）
	巻積雲	<ul style="list-style-type: none"> いとし雲が出ると天気 うろこ雲が出ると天気
	高積雲	ひつじ雲が出ると天気がいい
	積乱雲	入道雲が東に出ると雨
	その他の雲	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機雲が直ぐに消えていくと晴れ ・飛行機雲が消えないでいると二日後に雨が降る（共に戦後から）

⑤ 光や明るさに関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
----	-------------

月	<ul style="list-style-type: none"> ・お（っ）月さんが暈かぶると雨 ・おっ月さんが輪かいたら雨
太陽	・おひさんが暈をさかぶると雨
	・朝焼けは天気
	・夕焼けになると（明日は）天気
	・あかねほすと（明日は）天気
	・夕日に小日はその日の雨風、朝日に小日は三日後に雨風
月と太陽	・月に雨がさ、日に日がさ
遠景	・山が近いと雨

⑥ 虹、雨、雷に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
虹	・雨のあげくに虹がでる
	・朝虹に橋を渡るな
雨	・雨が上がると（西）風が吹く
夕立	<ul style="list-style-type: none"> ・夕立は馬の背を分ける ・疾風は馬の背を分ける。
雷	・朝雷に川越えするな
	・空雷（:からかみなり）は怖い
	・雷が鳴ったらせつ（=梅雨）が明ける
	・大雷が鳴ったらせつが明ける
	<ul style="list-style-type: none"> ・信濃雷、鍋釜割れる ・信濃雷に油断するな
	<ul style="list-style-type: none"> ・雷が鳴ったら金物を捨てよ（=鍬等を持って歩くな） ・雷は高い木に落ちる、雷が鳴ったら高い木の根に寄るな ・雷が鳴ったらへそ隠せ、へそ出し取ると雷さんが取ってくぞ

⑦ 雪に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
雪	雪降りのあげくは裸の洗だく

⑧ 音に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
音	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の音が聞こえると雨（が近い） ・船の汽笛が近いと霧

⑨ 季節に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）

春	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三寒四温 ・ 暑さ寒さも彼岸まで。 ・ 奈良のお水取りが済まんと暖かにならない。 ・ お釈迦さんが済まんと暖かにならない。
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨の中休み ・ 梅雨の長雨 ・ 盆ナガセは 3 日続く。 ・ 盆ナガセは 5 日続く。 ・ 盆ナガセは 7 日続く。
秋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋は三日で天気が変わる。 ・ 女心と秋の空 ・ 男心と秋の空
彼岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 彼岸の雨の水はたまらん (=たくさん降らない)。

⑩ 台風に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
雪	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嵐の前の静けさ ・ 210 日は厄日 ・ 嵐は南東から来る。 ・ 嵐は吹き返しが怖い。 ・ 西風が吹くと嵐も終わり。

⑪ 地名等が関係するもの（又は地名等を使うもの）

区分	伝承・諺（磯津ことば）
寺社の縁日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海山道さん(4/9)はは雨が降る。
地名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝熊（=朝熊山）に雪がかかると夏が来ない。

⑫ その他

区分	伝承・諺（磯津ことば）
体調・病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ リュウマチや神経痛の人は天気がわかる。 ・ 腹がによによすると雷が来る（又は 鳴る）。
暦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磯津の鯨船は雨がふるであかん
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照る照る坊主を吊るすと天気になる。 ・ 履物を投げて緒が上になると天気（、逆さまになると雨）。

2 地震に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ネズミが家からいなくなると地震がいる ・ヘビが（家から）いなくなると地震がいる ・ナマズが動かずにおとなしくしていると、地震が起こる
気象	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸し暑くなると地震がいる ・地震があると天気が変わる
雲	<ul style="list-style-type: none"> ・地震雲は西の空に出て、境目がはっきりとしている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸の水が（急に）無くなると地震がいる ・地震は返しが怖い ・伊勢（=伊勢平野地域）はお伊勢さんが守ってってくれるので、大きな災害が起こらない ・伊勢において物案じするな

3 天候に関する用語

区分	用語（磯津ことば）
春	<ul style="list-style-type: none"> ・寒のもどり ・春の初めに吹く強い南風は「春一番」 ・（お）釈迦（さん）の荒れ（=3月15日の悪天候） ・花冷え（=桜の咲く時期の冷え込み）
秋	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の日は釣瓶落とし
彼岸	<ul style="list-style-type: none"> ・彼岸日和（:ひがんびより=すっきりとしない天気）

4 その他の伝承・諺

① 動物に関するもの

区分	伝承・諺（磯津ことば）
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ネズミやヘビがいない家は火事が起こる ・キツネ七化け、タヌキ八化け
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・カラス鳴きが悪いと人が死ぬ ・スズメ百まで踊りを忘れん ・トバが家に巣をかけると縁起がいい ・巳年の人がある家にはツバメは巣をかけない
爬虫類	<ul style="list-style-type: none"> ・白へびは神様の使い ・ヒバカリバムシは秋になると産卵のために自分の牙を石を噛むことによって折る。その石を素足で踏むと「そこまめ」ができる、と言った。 ・白へびが家に入ってくると福が来る
両生類	<ul style="list-style-type: none"> ・ババガエルは熱さましに煎じて飲ました。 ・ババガエルを煎じて飲むか、メダカを生きたまま飲むと、乳がすだまる（通りが良くなる）

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・朝蜘蛛はいいが、夜の雲は殺せ ・夜の蜘蛛は、ぎざが悪い
-----	---

② 植物に関する諺

区分	伝承・諺（磯津ことば）
—	・親の意見とナスビの花は千に一つの無駄もない

③ 季節に関する諺

区分	伝承・諺（磯津ことば）
彼岸の雨	彼岸さんの雨の水はやけどや怪我の薬

④ 天体に関する諺

区分	伝承・諺（磯津ことば）
明けの明星	・トビアガリが見えてくると夜が明ける

⑤ 縁起と禁忌に関するもの

伝承・諺（磯津ことば）	
<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式の降り込み雨（嫁さんが家に入ろうとするときに降ってくる雨）は縁起がいい。 ・月の7日に旅立ちするな、帰るまいぞ9日に。 ・お墓でこけると靴を片方置いて帰ってこなあかん。 ・墓でこけると早く死ぬ。 ・夜に笛を吹くとヘビが来る。 ・夜に爪を切ると親の死に目に会えない。 ・ご飯を食べた後、すぐ寝ると牛になる。 ・女はいない棒を跨ぐとあかん。 ・おくどさんの上でもの切ると、いぐち（＝口唇口蓋裂）の子ができる。 ・のたつとるヘビを腹に子がいる女がまたぐといい子ができない。 ・腹に子がいる女がほうきをまたぐとあかん。 ・腹に子がいる女が火事を見ながら腹に手を置くと、生まれてくる子のその部分に痣ができる。 ・茶柱が経つと縁起がいい。 ・ミミズにおしっこかけるとちんちんが腫れてくる。 ・210日は丑の日で泳ぐな 	

⑥ 健康と病気に関するもの

伝承・諺（磯津ことば）

- ・頭が痛いときは、おでこに梅干を張れ。
- ・メンボ（又はメボチン）（＝ものもらい）ができたら、小豆をそこにあて井戸の中に落とすと治る（メンボと一緒に落ちて行く）
- ・しゃっくりは後ろから肩を叩いたら治る。
- ・白蓮根を磨って絞って飲むと咳が治る。
- ・白蓮根を磨って絞って飲むと結核も治る。
- ・歯が抜けたらといの下にほれ。

⑦その他

伝承・諺（磯津ことば）

- ・伊勢のかたちん、かたまいげ。
- ・前触れにもものもらうためしなし。
- ・物を忘れたら、足首に糸を巻きながら「教えて下さい」と願うと、忘れた所に連れて行ってくれる。
- ・ヤマセ波より人並みが怖い（＝人と同じことをしてはだめ。自分の考えで行動することが必要）
- ・羊女はかどにも立つな、男七人食い殺す。
- ・月の7日に旅立ちするな。帰るまいぞ9日に。
- ・鳩は8人。
- ・地震、雷、火事、親父。

